

## 群馬県内におけるパート従業員の求人状況

群馬経済研究所主席研究員 樹下芳久

### ～要 約～

1. 群馬県内では、経済活動の活発化と少子高齢化に伴う人口構造の変化により、人手不足の企業が増加している。群馬経済研究所が3ヵ月ごとに実施する企業経営動向調査でも、多くの企業が「求人難」を経営上の問題としており、パート従業員の求人も難しくなっていると考えられる。
2. 当研究所が、県内企業を対象にアンケート調査をしたところ、最近6ヵ月間（概ね、2017年の春から夏にかけての時期）に、パート従業員の求人をした企業の65.3%が、1年前と比べ、求人が「難しくなった」と回答した。
3. 求人の結果、パート従業員を「確保出来なかった」企業が34.7%みられた。また、求人の際の問題点として、「応募が少ない」が65.5%に達し、「応募者の資質が足りない」「採用しても早期に離職してしまう」との回答も多くみられた。
4. 求人の際に提示した時給は、平均で891円と、1年前の859円から32円増えた。求人成果別にみると、パート従業員を『確保出来た』企業では910円、『確保出来なかった』企業では857円と53円の格差があった。
5. 今後1年間におけるパート従業員の求人では、現状より「難しくなる」見通しの企業が58.5%に達した。一方、「現状維持」が38.0%、「容易になる」は僅かであった。
6. 求人対策として、多くの企業が『時給増額』に加え、「勤務時間（の長さ）の工夫」「勤務日数の工夫」といった『働きやすさ』を提供しようとしている。今後は、採用したパート従業員の定着率を高めるために、「正社員転換制度の導入」などによる『処遇の改善』や『働きがいの提供』が必要であると考えられる。

キーワード 労働需給 働き方改革 改正労働契約法